



警報装置

警報通信器

騒音・振動・
粉塵測定器

有害ガス
検知器

水質測定器

土質・木材・
コンクリート

非破壊検査

気象観測機器

その他測定器

通信関連機器

映像情報機器

安全管理機器

測量関連機器

技術資料
法規

AKT/O

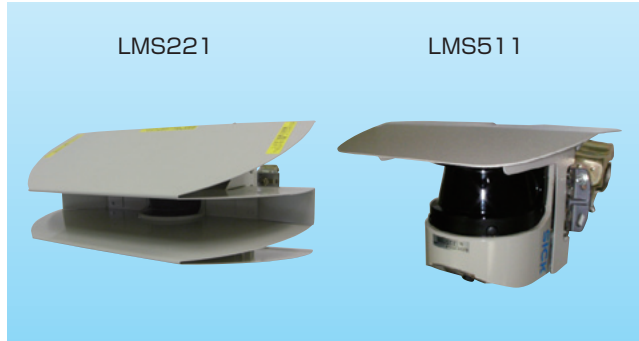
通信 08

112

警報通信器 レーザースキャナ式

- すき間のない監視が可能です。
- 監視エリアの形状を自由に設定可能です。
- 周囲の明るさに無関係で影響を受けませんので、外部照明の必要がありません。
- 内部ヒータ内蔵で結露を防止できます。

センサー正面



センサー背面



仕様

商品コード	R8P L0050 001	R8P L0050 002	
呼称	レーザースキャナ式 警報通信器		
メーカー	アクティオ(ジック)		
型式	LMS221	LMS511	
電源電圧	AC100V		
消費電力	250W	120W	
投光光源	赤外線レーザー(905nm)		
レーザークラス	class 1		
最大距離測定範囲	80m		
反射率10%測定範囲	30m(黒色無光沢)	40m(黒色無光沢)	
スキャン角度	160°	190°	
回転灯警報音量	0~105dB(無段階調整)		
保護構造(センサー/回転灯)	IP67/IP23(正方向取付時)		
使用温度(センサー/回転灯)	-30~50°C		
エリア警報出力	1点	3点	
警戒エリア切替スイッチ	なし	あり	
寸法	全幅 W	650mm	
	奥行 D	380mm(クランプ部を除く)	
	全高 H	268.5mm	
質量	約 12.6kg	約 4kg	
【制御盤】	寸法	全幅 W	400mm(突起部除く)
		奥行 D	160mm
		全高 H	400mm
	質量	約 3kg	約 4kg

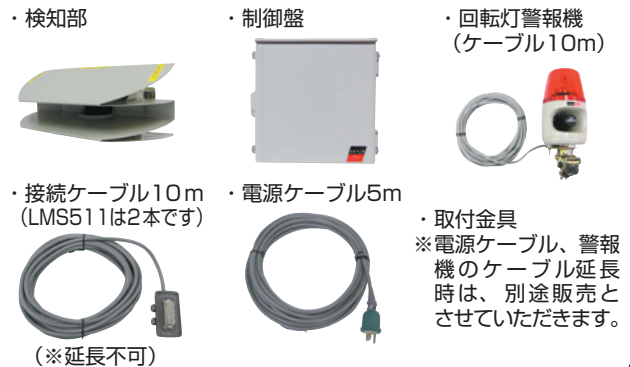
検知原理

レーザースキャナは、光のパルスの伝播時間測定で距離測定を行います。目に見えない、扇形のパルスレーザービームが「測定用の触角」のように高速の角速度で投光されます。これが物体（機械の一部や障害物など）に当たると反射され、レーザースキャナの受光部に入り認識されます。

用途

- 高架橋下・架線・線路・側道路際等で活躍します。最大半径80mの扇状でバリアを展開します。また、設置時パソコン上で警戒エリアを細かく設定できます。

機器構成

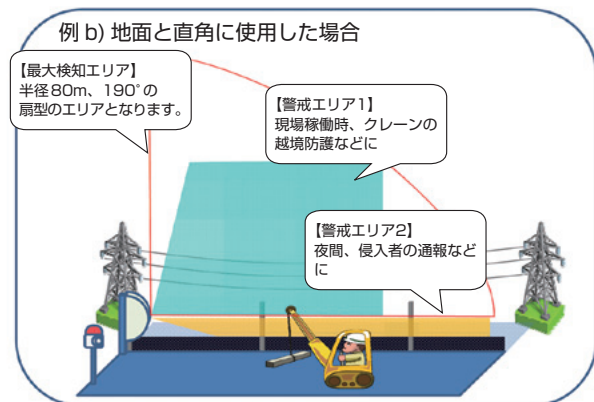
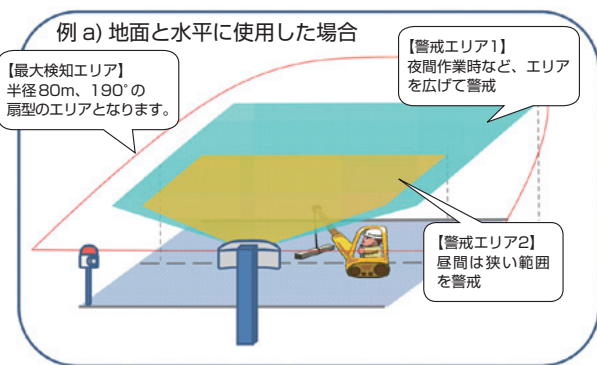


使用例(LMS511)

LMS511に新しく追加された機能

- ・複数のエリア設定ができます（設置時にエリア設定が必要となります）。
- ・警戒エリアの変更が容易にできます。

操作盤内部の切り替えスイッチを入切するだけの簡単な操作です。



※従来型 LMS-221は1エリアのみの設定となります。